

みずほCustomer Desk Report 2016/04/15 号(As of 2016/04/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.38
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.43	1.1278	123.41	0.9668	1.4187	0.7659
SYD-NY High	109.55	1.1295	123.43	0.9688	1.4207	0.7737
SYD-NY Low	108.90	1.1234	122.73	0.9640	1.4091	0.7619
NY 5:00 PM	109.42	1.1267	123.21	0.9671	1.4153	0.7696
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.84/11.315		△25RR	1.143	Yen Call Over	

NY DOW	17,926.43	18.15	債券市場	日本2年債	-0.2620	▲2.2bp
NASDAQ	4,945.89	▲1.53		日本10年債	-0.0920	▲1.6bp
S&P	2,082.78	0.36		米国2年債	0.7663	2.0bp
日経平均	16,911.05	529.83		米国5年債	1.2500	3.8bp
TOPIX	1,371.35	38.91		米国10年債	1.7919	2.8bp
シカゴ日経先物	16,845	190.00	為替市況	独10年債	0.1670	3.9bp
ロンドンFT	6,365.10	2.21		英10年債	1.4500	2.7bp
DAX	10,093.65	67.55		豪10年債	2.5220	0.4bp
ハンセン指数	21,337.81	179.10		USD/CNH	6.4928	0.0080
上海総合	3,082.36	15.72		ドルインデックス	94.93	0.19
USDJPY 3M Vol	10.98	0.20%	商品市況	CRB指数	174.774	▲0.88
USDJPY 6M Vol	10.64	0.16%		NY金	1,226.500	▲21.80
EURJPY 3M Vol	11.76	▲0.03%		WTI	41.500	▲0.26
EURJPY 6M Vol	11.35	▲0.01%		Dubai Spot	40.40	▲0.13

東京	東京時間のドル円は109.43レベルでオープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大したことや、全般的にドル買い地合となる中、ドル円は底堅く推移し、高値109.55まで上昇。但し、高値圏では売り意欲も強く、一段の上昇には繋がらなかった。午後には日経平均株価が前日比500円超高で高値引けしたものの、ドル円相場の上値は抑えられる地合が継続し、結局109.38レベルで海外に渡った。一方、動きのあった通貨はシンガポールドル。東京時間オープンと同時にシンガポール金融管理局(MAS)が2010年4月から継続してきた実効レートベースのシンガポールドル高誘導を停止し、上下どちらの方向にも誘導しないと発表。大方の市場参加者は現状の政策を変更しないと予想していたことから、1.35近辺で推移していたシンガポールドルは1.36台まで急騰。その後もドル買い優勢の展開が継続し、1.36台半ばで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.38レベルでオープン。目立ったニュースが見られない中で円買いの動きとなり109円前半まで下落。但し、その後は原油、米金利、欧州株の上昇と共にドル円も109円半ばまで上昇するなど方向感の出ない展開。結局、109円台前半のレンジで推移し、109.39レベルでNYへ渡った。ユーロドルは終始1.12台半ばで方向感のない展開。朝方は1.1260レベルでオープンし、ドル円の下落に連れてユーロ円が下落したこととユーロドルも弱含む局面もあったものの、その後また値を戻し1.1260レベルでNYへ渡った。尚、BoEは事前予想通り全会一致で政策金利、資産購入額が据え置かれ、ポンド相場への影響は限定的であった。(ロンドントルフィー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は、109.39レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回ったものの、同時に発表された米3月CPIがヘッドライン、コア共に予想を下回ったことや、ロックハート・アラント連銀総裁が「見解を変更し、4月の行動を支持しない」との発言に加え、熊本で震度7の地震とのニュースも伝わったこともあり、108.90まで下落する。その後、米金利が上昇する動きにドル円は109.31まで戻す。午後に入りダウが上げ幅を縮小させる展開にドル円もやや小緩む場面もあったものの、引けにかけてはドル買い優勢の展開となり、結局109.42レベルまで上昇してクロスした。一方、ユーロドルは、1.1260レベルでNYオープン。朝方は、米3月CPIの結果や、ロックハート総裁の発言等を受けたドル売りに1.1295まで上昇したものの、その後の米金利上昇を受けたドル買い戻しの流れに1.1248まで反落。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1267レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 並上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月14日	8:50	日 対外対内証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	3月 26.1K/5.7%	17.0K/5.9%
	18:00	欧 CPI(速報、前月比/前年比)	3月 1.2%/0.0%	1.2%/-0.1%
	18:00	欧 コアCPI(速報、前月比/前年比)	3月 1.0%	1.0%
	20:00	英 BOE政策金利	-	0.50%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	253K
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月 0.1%/0.9%	0.2%/1.0%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	3月 0.1%/2.2%	0.2%/2.3%
	23:00	米 ロックハート・アラント連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 パウエル・FRB理事 講演	-	-

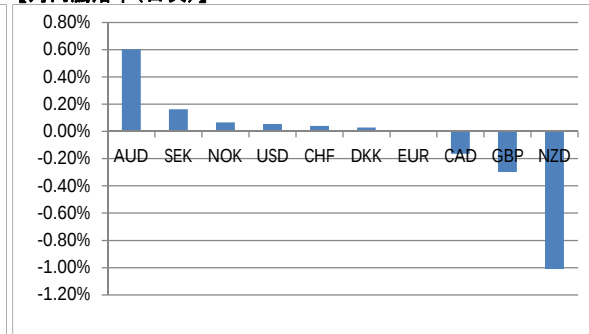
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月15日		G20財務相・中銀総裁会議(14日-)	-	-
	11:00	中 鉱工業生産(前年比/年初来前年比)	3月 5.9%/5.5%	5.9%/5.4%
	11:00	中 小売売上高(前年比/年初来前年比)	3月 10.4%/10.2%	-/10.2%
	11:00	中 GDP(前期比/前年比)	1Q 1.5%/6.7%	1.6%/6.8%
	13:30	日 鉱工業生産(確報、前月比/前年比)	2月 -/-	-6.2%/-1.5%
	18:00	欧 貿易収支(季節前/季節後)	2月 -/21.5B	6.2B/21.2B
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	4月 2.00	0.62
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	3月 -0.1%	-0.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド(速報)	4月 92.0	91.0
4月16日	1:50	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.90-110.50	1.1200-1.1300	122.50-123.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円は、発表された米3月CPIが予想を下回る上昇率であったこと、熊本で地震が発生したとの報道を受けて、108.90まで下落。しかし、その後は米金利が上昇する展開に109円台を回復した。本日のドル円は堅調な展開を予想する。予想を下回る米3月CPIの結果を踏まえても108.90で下げ止まっており、一旦は下値は限定的になると考える。中国第1四半期GDP等の結果次第ではリスクセンチメントが後退する可能性があるものの、よほど予想を下回る結果とならない限り、下抜けすることは避けられよう。寧ろ、17日に産油国会合を控え、増産凍結合意への期待から原油価格が上昇すれば、短期的に110円台に乗せる展開もあり得ると考える。